

大会規定

- 1 試合は今年度オフィシャルソフトボールルールに準ずる。
- 2 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに沿って行う
- 3 試合開始30分前までに、当該ベンチ付近に集合していること。
- 4 監督、選手、コーチは統一したユニホームを着用すること。
- 5 ベンチサイドは、組合せ番号の若いチームが一塁側とする。
- 6 フィールドインギングは、審判員の指示により後攻のチームより行い5分以内とする。
但し各チーム第一試合のみとする。
- 7 バッターサークル(ベンチ)内では、投球に合わせてバットを振らないこと。
投球に合わせてなくても振らない(監督が子供に指導するように)
- 8 投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者を含む)は、
応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。
- 9 ベースは固定ベースを採用する。
- 10 金属スパイクは禁止する。
- 11 打者及び走者は両耳のヘルメットを着用すること。
- 12 捕手は、ヘルメット、スローとガード付きマスク、プロテクター
レガースを着用すること。(競技場内での投球練習も着用の事)
- 13 選手及び監督・コーチがコーチズボックスに入る場合はヘルメット(両耳)を
着用すること。
- 14 オーダー表に記載のない選手は、試合に出場出来ない、(試合に
出場可能な選手は全員記載しておく)オーダー表に記載の無い
者はベンチに入れない。
- 15 審判員に対する確認は監督、以外は出来ない。
- 16 メガホンの使用は監督のみとする。
- 17 ☆リーグ戦 男子・女子
 - ①7回戦とし80分を経過して新しい回に入らない。
 - ②得点差コールドゲームを採用、3回15点、4回10点、5回7点差以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
 - ③規定回数若しくは、規定時間に達して後攻のチームが勝っている場合は、後攻は行わない。
 - ④規定回数若しくは、規定時間に達して同点の場合タイブレーカーで勝敗を決定する。(失点はカントしない)
タイブレーカー1回で決着しない場合は、2回よりノーアウト満塁より開始とする。
 - ⑤リーグ戦の順位は、1.勝ち数 2.直接対戦で勝っている 3.総失点

18 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

日本ソフトボール協会作成のガイドラインおよび群馬県作成のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインを則り、下記の対策を講じ運営をする。

- ① 試合中を除き、参加者全員原則マスクを着用すること。試合でマスクを外す場合は、マスクをケースか袋に入れて保管すること。(保護者が管理するのもよい)
当日未着用者は入場認めず、マスクの配布も行わない。
- ② 会場内では、いかなる場面においても密集・密接を避け(他の人との前後左右の距離を極力2mとる)特に対面での会話や身体的接触行為(握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグ等)また、大きな声援や会話は禁止とする。
- ③ ベンチ内では各チームで消毒液を用意、共用で使用する用具はこまめに消毒を行う。
試合終了後ベンチ内を消毒してから、ベンチを空ける。
- ④ 会場内での水分補給を除く飲食は禁止とする。
- ⑤ 大会当日、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状(37.5度以上の発熱・風邪症状・胸部不快感・強いだるさや倦怠感・味覚嗅覚を感じないなど)がある場合は参加を認めない。
- ⑥ 大会前日から7日前までに、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある場合や過去7日以内に濃厚接触者と特定された場合は参加を認めない。
ただし、PCR検査などで陰性が確認できている場合には参加を認める。

19 球技場内は禁煙とする。

20 その他

- (1) 試合終了後のグラウンド整備は勝利チームが中心となって行なう。
- (2) 各自ゴミ袋持参し、持ち帰ること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大等による。群馬県の警戒レベルの引き上げや施設の利用制限の変更により、開催を中止する場合がある。